

平成 28 年度東京都・大島町・利島村合同総合防災訓練参加（東京都支部）

去る、11月21日（月）東京都で実施している島しょ総合防災訓練の大島町での訓練へ当支部も参加して、アマチュア無線の非常災害時での活動等のPRを含め、今回は伊豆大島アマチュア無線クラブの協力で訓練会場に JH1ZEC/1 を開設し、3.5/7/430MHz の3バンドでのメリット交換など公開運用（写真1）を実施しました。

当支部が参加した会場は、伊豆大島でも南部にある差木地地区で旧差木地小の校庭に設置されたテント（写真2）で隣は、関東地方整備局、対面はソフトバンクモバイル㈱、他に東京消防庁等があり、陸上自衛隊の救出訓練等がありました。（写真3）この他の訓練会場は、北部の大島空港や岡田港、さくら小学校、中部は元町港、つばき小学校で、三原山噴火を想定して、警視庁、東京消防庁、陸上自衛隊、海上保安庁、海上自衛隊、東海汽船㈱、東京都、大島町よる訓練が行われました。利島村でも南海トラフ巨大地震等による津波を想定しての訓練が行われた。

訓練には、19日（土）夜行船便にて大島に行き、20日（日）早朝到着し休憩後10時頃より訓練会場へ向かい、伊豆大島アマチュア無線クラブの二村さんの協力により、高所に3.5と7MHz帯のANT2本を設置し、他にテント際に50/144/430MHz用、29MHz用、7～430MHz用各1本の計5本のアンテナを設置し準備を行った。HF帯だけではなく430MHz帯のレピータのアクセス確認やWiRESによる通信訓練も行った。設営時は、風は少なく晴天で暑かった。東京方面に三原山があり、V/UHFではJARL本部との交信は難しい会場でした。

当日は、AM7時に宿泊先を出発し、はじめは小雨でしたが訓練本番では風が強くなり、雨も降って気温が下がり冷たい訓練となりました。会場では、当テントに小中学校の生徒が集まり、アマチュア無線について質問があったため、アマチュア無線について「アマチュア無線ビギニングガイド」「JARDの養成課程講習会案内」などのパンフレットを配布し、携帯電話との違い、アマチュア無線の社会貢献活動や楽しさ、ライセンスの取得方法等について説明しました。（写真4）（写真5）伊豆大島アマチュア無線クラブメンバーの方も、生徒にアマチュア無線の素晴らしさを説明しました。来場した現在閉局している方には最近の状況やJARLへの入会を呼びかけました。（写真6）

JARL中央局（JA1RL）とは、高尾会長との連絡で7MHzにて交信に成功し、短時間でしたが1,2,3,4,7,8,0エリアと交信ができました。

公開運用には、訪問者が無線機のパネル等が見やすいよう配置し、説明できるよう工夫し（写真5）、交信模様が聞こえるようにして、通信をアピールするようにしました。

参加者数は、約40団体、約4500名で車両約110台、航空機14機、船艇4隻とのことでした。

写真1 公開運用中



写真2 テント全景



写真3 自衛隊写真



写真4 子どもたちからの質問



写真5 訪問者たちへ説明



写真6

伊豆大島アマチュア無線クラブ二村さんと



報告者

JARL 東京都支部長 澤田倉吉 JG1DKJ